

歯科インプラントの表面粗さ測定

歯科用インプラント承認基準に基づいた表面粗さ測定をお手伝いいたします。

試験機の概要

● レーザ顕微鏡

白色干渉計搭載 レーザ顕微鏡 VK-X3000、(株)キーエンス社製

● 仕様

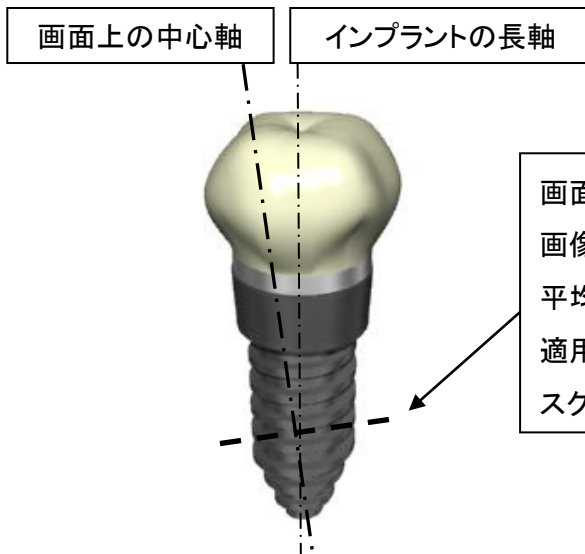
光源	短波長レーザー光源 (白色干渉計搭載)
総合倍率	42～9600倍
対物レンズ倍率	×5、×10、×20、×50
高さ方向最小分解能	0.01nm



表面粗さ測定に係わる参考規格

薬食発第0525004号歯科用インプラント承認基準の制定について

表面観察の実施例



画面の中心軸と垂直な方向に対し、測定長さ256 μ m、対物倍率50倍、画像の取得データ数1024で粗さデータを取得する。
平均算術粗さ(Ra)、最大高さ(Rz)をカットオフ(ハイパスフィルタ)は適用せずに μ m単位で算出する。
スクリュー谷部の異なる3箇所で行い、各平均値を算出する。